

東京病院ニュース

第78号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~tokyo/>

院長挨拶

国立病院機構東京病院院長 當間 重人

新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）による健康被害および社会経済活動障害が生じており、日本においても予断を許さない状況が続いています。

ウイルスによるパンデミックとしては、1918年のスペイン風邪、1957年のアジア風邪、2009年の新型インフルエンザ（豚インフルエンザ）などが挙げられます。SARS・MARS・ジカウイルスも記憶にあると思われませんが、これらはパンデミックとはなりませんでした。

パンデミックになる要素は何でしょうか？

ひとつは、「ヒトがそのウイルスに対して免疫を持たない場合」です。免疫はウイルスなど自分ではない異物を処理排除する働きですが、初めて攻撃を受けるウイルスに対しては、そうでない場合（2度目以降の攻撃を受ける場合）に比較して排除機能が未熟なのです。とは言っても、新型コロナウイルスの初回感染では軽症（時には無症状）に終わることが多いことも分かっているので、免疫は実に頼りになるものと言えます。

もうひとつは、「そのウイルスのヒトからヒトへの感染力が強い場合」です。今回の新型コロナウイルスは、このふたつの要素を持っているためにパンデミックになってしまったということになります。さらに挙げれば、現代においてはヒトと共にウイルスも種々の交通機関により高速移動しますので、よりパンデミックが起りやすい状況にあると言えます。

すでに診断法は確立されており、治療薬候補もいくつか検討されています。ワクチンの開発も進んでいます。今しばらく時間はかかるかも知れませんが、終息は必ずやってきます。そして今回の教訓が残され、将来同様の事象が起きた時に活かされることになると思われま

このような状況ではございますが、今後も患者さんにとってより快適で充実した医療を受けることができる病院づくり、また職員全員にとって気持ちよく楽しく働ける職場環境づくりのため、無限の発展に努める所存であることに変わりはありません。

桜は今年もきれいに咲いております。



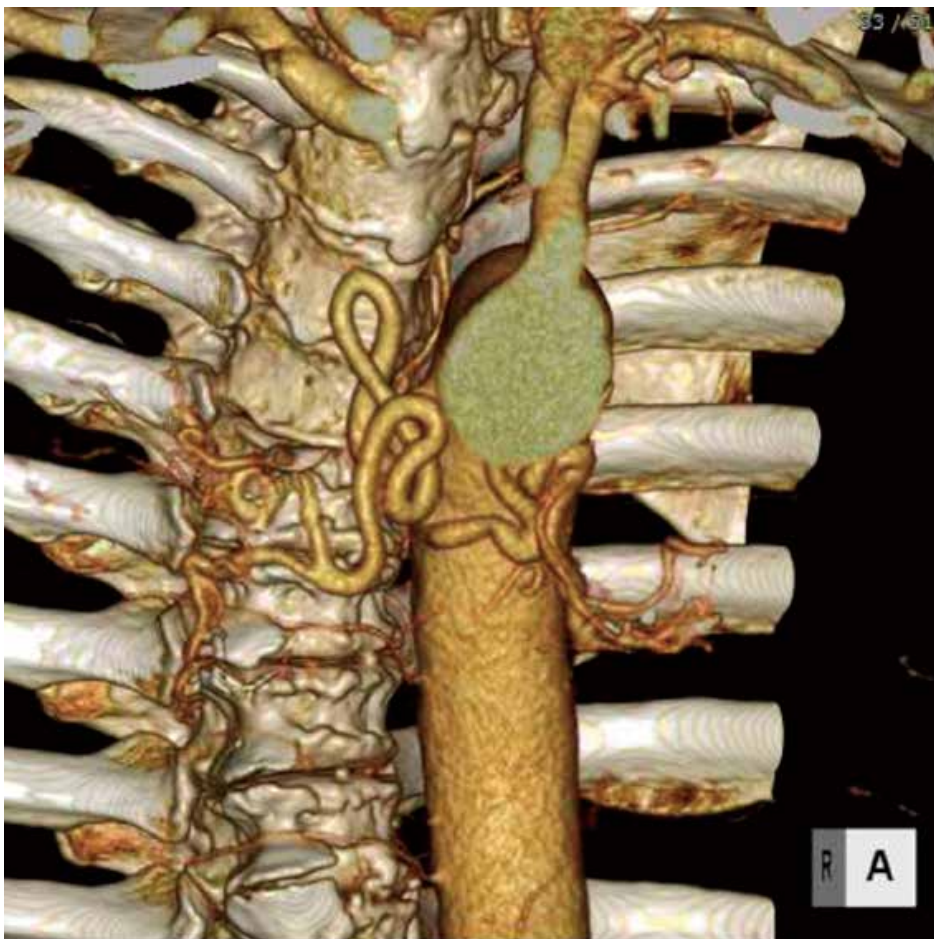
2020年（令和2年）4月

シリーズ診断と治療 ▶ 咯血治療についてお話しいたします

咯血専門外来

皆さん「吐血」と「咯血」の違いはご存知でしょうか。吐血は食道や胃などの消化管からの出血です。咳や痰を伴い肺から気管を伝って出血するのが咯血です。咯血はほとんどの場合が体循環系の動脈血ですので真っ赤な鮮血を呈します。咯血の原因は様々ですが、当院の咯血専門外来に来られる患者さんの疾患を分類してみると、肺非結核性抗酸菌症や肺アスペルギルス症などの慢性的な感染症が原因で生じるものが半分、気管支拡張症といって気管支に炎症を起こし気管支が壊れて生じてくるものが4分の1を占めます。いずれの疾患も気管支や肺に炎症が及ぶことで、気管支を取り巻いている気管支動脈などが切れて、気管支の中に真っ赤な鮮血が出血して咯血に至ります。

咯血は大抵の場合は止血剤の内服や点滴を行って一時的に出血を止めますが、止まらない場合はカテーテル治療を行います。股の付け根の大腿動脈という血管の中にカテーテルを入れて、出血している肺の血管（おもに気管支動脈）までカテーテルを到達させます。このカテーテルの中にさらに径0.8mmほどの極細のカテーテルを入れて、肺の中で出血している一番近い所までこの極細のカテーテルを到達させます。そして切れて出血している血管だけを選択的に金属コイルによる詰め物をして出血を止めます。



図：胸部大動脈と左右の気管支動脈（CT-angiography）

ここ10年はめざましいCT画像の進歩があり、身体の中の血管を簡単に3D再構成できる時代になりました(図)。この画像は今やカテーテル治療を行う際の水先案内人として必要不可欠なものになっています。また一方でカテーテル治療に使用する医療材料や医療技術の進歩により、カテーテル治療をより安全かつ確実に行えるようになりました。そして東京病院ではこの医療の進歩とともに喀血で命を落とされる患者さんが激減していきました。

私たちは2010年に喀血専門外来を開設し、喀血治療をしっかりと行えるシステムをつくりました。おもに関東甲信越の呼吸器科の先生から患者さんをご紹介いただき、年間140例ほどのカテーテル治療を行っています。そして喀血治療についての成績について世界にむけて常に発信しつづけています。



カテーテルチーム

結核について (23)

呼吸器内科 山根 章

前回も、結核の感染についてお話ししました。

要約すると、

- ① 結核発病者の周囲に感染が広がっていないかどうかを調べるために、保健所が接触者健診を行う。
- ② 接触者健診で結核に感染していることが判明した接触者は、発病予防の候補者として医療機関に紹介される。
- ③ 医療機関では発病予防を行うかどうかを検討するが、その際重要なのはその接触者がすでに結核を発病しているかどうかを調べることである。

ということでした。今回も引き続き結核の発病予防について考えてみたいと思います。

前回も述べたように、結核に感染していることが判明した結核患者接触者が受診した医療機関は、胸部X線検査やCT検査などを行って、その接触者が結核を発病していないかどうかを調べます。そして、発病していないことが確認されれば、その接触者は発病予防の候補者となります。

発病予防の方法は以前も述べたように、抗結核薬をある決められた期間内服することです。現在最も多く用いられているのはイソニアジド (INH) という抗結核薬を6～9ヶ月内服する方法です。また、リファンピシン (RFP) という薬を4～6ヶ月内服する方法もあります。さらに、最近ではINH, RFPの2剤を同時に内服する方法も行われるようになってきました。それぞれの方法に長所・短所があります。例えば、最後の2種類の薬を併用する方法は、短期間で終了できるというメリットがありますが、副作用がおこる可能性は最も高くなると考えられます。

そして、このような方法で発病予防を行うと、60%～90%の発病予防効果があるといわれています。以前述べたように、結核感染者のうち10%が一生のうちに結核を発病するといわれていますので、この発病予防により、発病率は10%から1%～4%に減少すると考えられます。残念ながら、発病予防を行っても発病を完全に防止することはできません。

実際に発病予防を開始するかどうかを決めるに当たっては、その接触者がそれによって受けるとされる利益と不利益を秤にかけする必要があります。結核に感染していると考えられる場合でも、年齢や併存疾患によっては治療を受けない方がよいと思われる場合もありえます。例えば、高齢者では一般に抗結核薬による副作用が出やすい傾向がありますし、肝臓病がある人などでは抗結核薬によって肝障害が悪化する恐れがあります。結核の発病予防はあくまでも未発病者に対する予防措置ですので、重大な副作用が起こることは極力避けなければなりません。このようなことを考慮に入れて、ある結核感染者に対して結核予防を行うかどうかを決定します。

いったん内服を開始することになれば、肝心なことは規則正しく抗結核薬の内服を続けてもらうことです。未発病の感染者は無症状なので、内服の必要性を感じにくく、内服を中断してしまう危険性があるからです。そのため、はじめに発病予防の意義や内服継続の重要性を十分に理解してもらう必要があります。

この先のことは次回お話ししたいと思います。

連携医の方を紹介します

保険医療機関・救急指定 医療法人財団 織本病院

院長 藤木 達雄 先生



【診療科目】

内科・外科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・消化器外科・
腎臓内科・透析内科・透析・外科・血液内科・整形外科・脳神経外科・
血管外科・乳腺外科・泌尿器科・皮膚科

【院長からの一言】

織本病院は、1952年創立の清瀬でも歴史ある病院です。これまで腎臓、糖尿、高血圧病等の生活習慣病治療を主としてきましたが昨年からは消化器内科の診療体制も強化しています。また、腎臓領域では、腎不全外来、シャント手術、外来・入院透析までを行っています。治療薬が無い腎臓病の患者さんにとっては、腎不全の進行を遅らせる食事療法という選択肢があり、食事・生活指導、院内での調理実習会を行っています。これまで東京病院との主な連携は、呼吸器、消化器領域の専門的治療でお世話になっており、これからも地域住民の皆様が安心して暮らして頂く為に、それぞれの病院機能を活かした「頼りになる病院連携」に努めて参ります。



【所在地】〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘 1-261

【TEL】(042) 491-2121

【アクセス】

西武池袋線清瀬駅北口より「旭が丘団地」行きバス
(①番乗り場) 8分

「下清戸2丁目」または「旭が丘通り」下車、徒歩5分

※患者様無料送迎バスも運行中です。

詳細はお問い合わせ下さい。

【駐車場】62台

【休診日】日曜日・祝祭日



織本病院サイト

牛肉とごぼうとしらたきのピリ辛煮 (もう1品欲しい時のおかず)



8等分して1皿あたり

エネルギー:128kcal、たんぱく質:6g、

塩分:0.7g、食物繊維:2.9g

【材料】

牛肉M-ス切り落としす切:250g、ごぼう 1本:250g、しらたき:300g、生姜:1かけ(10g)、サラダ油:中さじ(10ccスプーン) 1杯、酒:大さじ3杯、顆粒だし:中さじ1と1/2杯、水:1/3カップ、砂糖:中さじ2杯、醤油:大さじ2杯、七味唐辛子:少々

【作り方】

- ①牛肉、しらたきは食べやすい大きさに切る。
- ②ごぼうは皮を取り除き、縦半分にした後にななめにスライスし、水にさらした後ザルで水切りする。生姜はせん切にする。
- ③鍋にサラダ油を入れて中火で熱し、生姜、水気を切ったごぼう、しらたきを炒める。
- ④顆粒だし、醤油、酒、砂糖、水を加え、蓋をして煮る。
- ⑤ごぼうが柔らかくなってきたら、牛肉を手でほぐしながら入れ、蓋を閉める。(牛肉は後に入れたほうが硬くなりにくい。:写真左)
- ⑥牛肉に火がとおってきたら、蓋を開けさっとかき混ぜ、煮汁がなくなるまで、時々かきまぜながら煮る。
- ⑦できあがりにお好みで七味唐辛子を入れてまぜる。



独立行政法人 国立病院機構東京病院

出前講座のご案内

東京病院では、地域の方々との交流、健康づくりのお手伝いの一助として、当院職員による「出前講座」をご用意いたしました。皆様の地域に出向いて、専門的な内容を分かりやすくお話いたします。また、地域の皆様との交流を通じ、当院への理解を深めていただけるような講座になっております。まずはお気軽にお電話ください。

番号	講座名	講師
1	たばこの害について	副院長 松井弘稔
2	PM2.5はどれほど危険か	副院長 松井弘稔
3	いびきを放置するのは危険？～睡眠時無呼吸の話～	副院長 松井弘稔
4	増えている非結核性抗酸菌症	感染症科部長 永井英明
5	結核は過去の病気ではありません！	感染症科部長 永井英明
6	大人のワクチンについて	感染症科部長 永井英明
7	こんな時は脳神経内科を受診してください（脳神経内科が診療する疾患について）	脳神経内科医長 小宮正
8	脳卒中になったら、ならないために…	脳神経内科医長 小宮正
9	認知症の予防と治療について	脳神経内科医長 小宮正
10	パーキンソン病の治療の進歩	脳神経内科医長 小宮正
11	「お茶でむせる」は要注意！～飲みこみの障害とその対策について	リハビリテーション科医長 伊藤郁乃
12	感染症から身を守ろう！～今日からできる正しい手洗い～	感染管理認定看護師 松本優子
13	抗がん剤と副作用	がん薬物療法認定薬剤師 植木大介
14	糖尿病のお薬について	薬剤師（日本糖尿病療養指導士）
15	ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは	副薬剤部長 齋藤敏樹
16	早期からの緩和ケアについて	緩和ケア内科医長 池田みき
17	もしバナゲーム(もしものときの話し合い)～命の危険が迫っている時、あなたは何を大切に生きたいですか？	緩和ケア認定看護師 村山朋美
18	生活習慣病の食事について	栄養管理室長 中野美樹
19	在宅療養の食事について	栄養管理室長 中野美樹

○開催日時・場所

開催日時は、原則平日の午前9時から午後5時の間で、1時間程度といたします。
会場のご用意は、主催団体側にてお願いいたします。

○申し込みができる団体

町内会、自治会、老人会、市民サークルなどの地域団体、企業、学校などで、当日概ね20人以上の参加が見込まれる団体です。

○申込方法（☎042-491-2111）

希望日の概ね2週間前までに、東京病院経営企画室までお電話で希望日時と講座名をお伝えください。日程調整を行い、当院担当者よりご連絡を申し上げます。

○その他

講演料は無料となりますが、講師の開催場所への移動に関する交通費等は、主催団体側にてお願いしております。

○お問い合わせ 東京病院経営企画室 TEL042-491-2111



外来診療担当医師表

独立行政法人 国立病院機構 東京病院

(令和2年 4月 1日 現在)

〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1 TEL 042-491-2111(代) FAX 042-494-2168

<予約センター> TEL 042-491-2181 ※平日の8時30分～15時00分

<地域医療連携室> TEL 042-491-2934/FAX 042-491-2125 ※平日の8時30分～15時30分(医療機関からの問い合わせを除く)

【受付時間】 初診 : 8時30分～14時00分 再診(予約外) : 8時00分～11時00分

★は、予約患者様のみの診療です。

Table with columns for medical department (e.g., 呼吸器内科, 呼吸器外科, アレルギー科), time slot (初診, 再診), and day (月, 火, 水, 木, 金). Includes a '備考' column for special notes.

診療科目

- 内科
- 脳神経内科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- アレルギー科
- リウマチ科
- 外科
- 消化器外科
- 整形外科
- 呼吸器外科
- 泌尿器科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 麻酔科
- 緩和ケア内科
- 感染症内科
- 病理診断科
- 歯科

「人間ドック」受付しております。

<実施期間>「人間ドック」：平日の月・水・木曜日のみ

<受診を希望される方は>

完全予約制となっておりますので、ご希望の方は下記の予約センターまでお問い合わせください。

【予約センター：TEL 042-491-2181 受付時間：平日 8:30~15:00】

受付時間：初診 8:30~14:00

(科によって、診療を行っていない曜日、時間があります)

再診 8:00~11:00

予約センター 042-491-2181

(受付時間平日8:30~15:00まで)

専門外来案内

専門外来名		診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください
	禁煙(予約制)	火(午後)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)
呼吸器関係外来	肺がんセカンドオピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。 [1時間まで10,800円]
	咯血(予約制)	火(午後)	咳をともなって気道・肺から出血する状態を咯血といいます。肺アスペルギルス症、気管支拡張症、非結核抗酸菌症、肺結核、肺癌の患者さんにおこります。ご相談ください。
	間質性肺炎(予約制)	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。 治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。
	非結核性抗酸菌症	水(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。 結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	いびき COPD (睡眠時無呼吸症候群の検査)	月~金(午前)	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。
	難治性喘息外来(予約制)	月・水・金(午前)	通常の喘息治療でうまく喘息がコントロールされていない難治性喘息の方。
ものわすれ外来(予約制)	水(午後)、 木(第1・3週のみ)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木 (第1週・第3週のみ)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など(要神経内科外来受診)。	
地域リハビリ相談	木(午前)	連携医の先生方かかりつけの患者様で、運動・言語・嚥下機能に問題があり、リハビリテーションをご希望の方。(かかりつけ医の情報提供書が必要です。)	

地域医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合(医療機関)

外来診療の予約：診療依頼書をFAX送信して下さい

CT・MRI検査の申し込み：地域医療連携室へお電話下さい

地域医療連携室

FAX 042-491-2125 (8:30~17:15)

TEL 042-491-2934 (8:30~17:15)

交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅より無料シャトルバス運行中
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車でお越しの際は正面よりお入り下さい。

(駐車場265台)

30分以内 無料

31分~4時間 100円

以後1時間毎 100円

(20時15分~7時 1時間毎300円)

WEB検索

東京病院

検索

